令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立中之島小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区　　名	北区
学　校　名	大阪市立中之島小学校
学 校 長 名	楠井 誠二

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和８年４月に、６年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査内容

(1)　教科に関する調査

・国語

・算数

(2)　質問調査

・児童に対する調査

・学校に対する調査

３　調査の対象

・国・公・私立学校の小学校第６学年の原則として全児童

・大阪市立中之島小学校では、第６学年　73名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立中之島小学校の結果概要

国語、算数ともに平均正答率は全国平均を上回り、無回答率も全国平均を下回るなど、基礎的・基本的な内容の定着が見られた。特に算数では、全ての領域において全国平均を4ポイント以上上回るなど、良好な結果が見られた。

また、質問調査では、「国語が好き」と回答した児童の割合が全国よりも７ポイント上回った一方で、「算数が好き」と回答した児童は８ポイント以上下回った。また、「自分にはよいところがある」と回答した児童の割合が全国平均を上回ったが、「学校に行くのは楽しい」や「将来の夢や目標をもっている」と回答した児童の割合は全国平均を下回っている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

問題の７割において、無回答率が０％であったことから、最後まで取り組み、自分の考えを表現しようとする姿勢が見られる。一方で漢字を正しく書く問題については全国に比べて平均正答率が低く、無回答率が高かった。文章や資料を基に考えをまとめたり表現したりする力は着実に伸びている一方で、漢字の書き取りなど基礎的・基本的な知識の定着には課題が見られる。

【算数】

全ての領域において平均正答率が全国を上回っており、基礎的・基本的な知識及び技能の定着が見られた。「データの活用」及び「変化と関係」の領域については、他の領域と比較して平均正答率が低い傾向が見られた。資料やデータを基に考察したり、数量の変化や関係を多面的に捉えて判断したりする力については、さらなる向上が求められる。

質問調査より

算数においては、平均正答率が全国平均を大きく上回っている一方で、「算数の学習が好き」と回答した児童の割合は全国平均を大きく下回っていた。学力面の成果が学習への興味・関心や自信、学ぶ楽しさの実感に十分結び付いていない状況がうかがえる。また、児童は自分自身のよさや可能性を肯定的に捉えることができている一方で、その自己肯定感が学校生活の充実感や将来の夢・目標の設定につながっていないことが課題である。

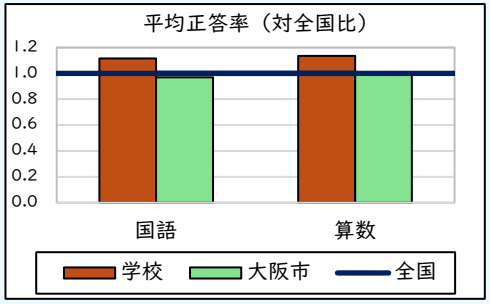
今後の取組（アクションプラン）

国語においては、日常的な漢字指導の充実や、学習した語句を実際の言語活動の中で活用する機会を充実させることで、語彙力の向上を図る。算数においては、日常生活や他教科と関連付けながらデータを活用する学習や、数量の関係を図や表、式を用いて多面的に考察する活動を充実させる。また、児童が学ぶ楽しさや達成感を実感できる授業づくりを進め、学習への興味・関心を高めていく。さらに、一人一人が学校生活の中で達成感や自己有用感を味わうことができるよう、キャリア教育や体験活動を通して、自らの将来について考える機会を充実させ、夢や目標をもって主体的に学び続ける児童の育成を目指していく。

令和８年度　全国学力・学習状況調査　教科に関する調査結果の概要

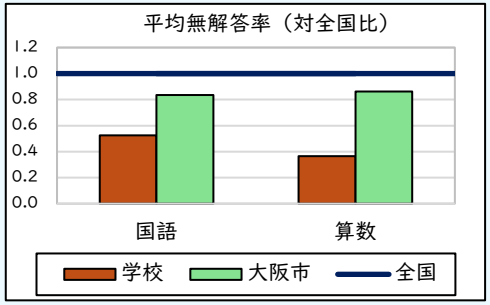
平均正答率（%）

	国語	算数
学校	68	64
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



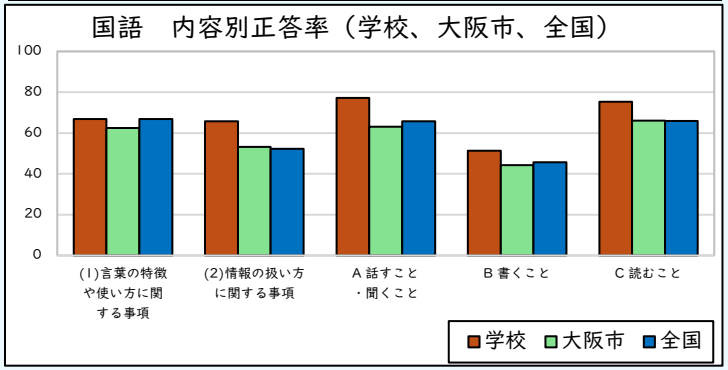
平均無解答率（%）

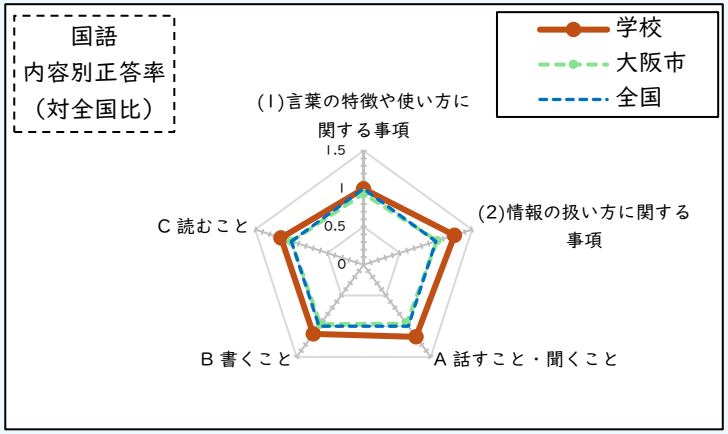
	国語	算数
学校	1.8	1.2
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



【国語】内容別正答率

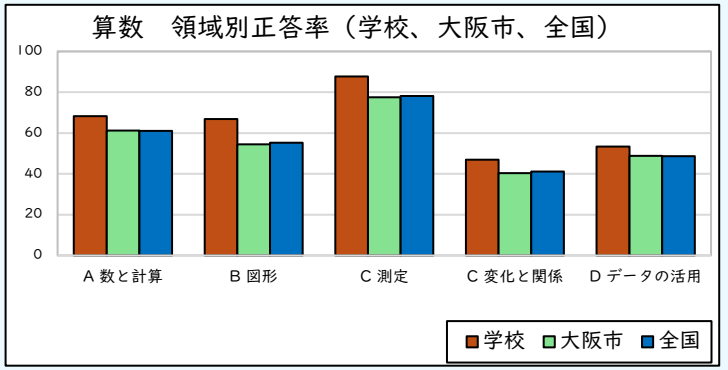
学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	66.8	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に関する事項	2	65.8	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	－	－	－
A 話すこと・聞くこと	3	77.2	63.1	65.8
B 書くこと	2	51.4	44.2	45.7
C 読むこと	2	75.3	66.0	65.9

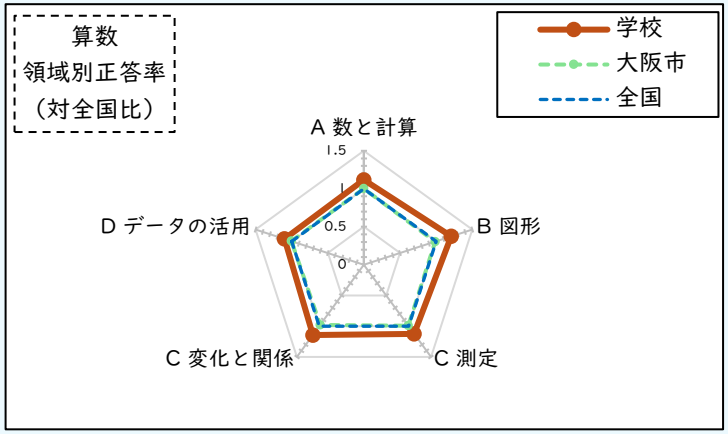




【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	68.3	61.2	61.1
B 図形	4	66.8	54.5	55.3
C 測定	1	87.7	77.5	78.1
C 変化と関係	3	47.0	40.3	41.1
D データの活用	4	53.4	48.8	48.6

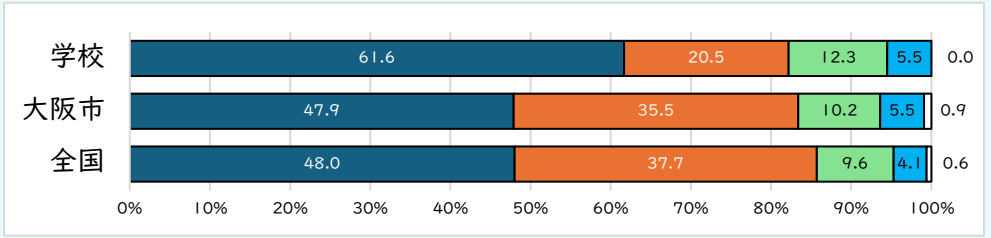




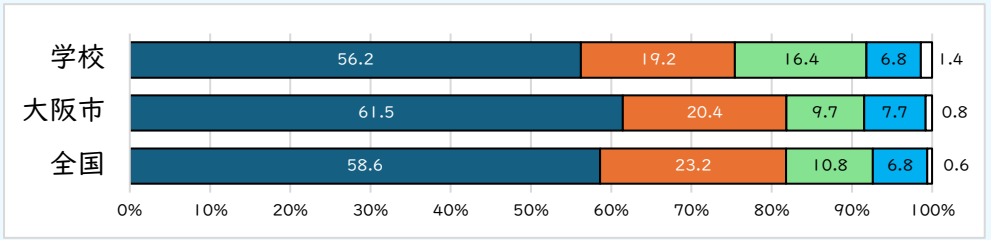
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

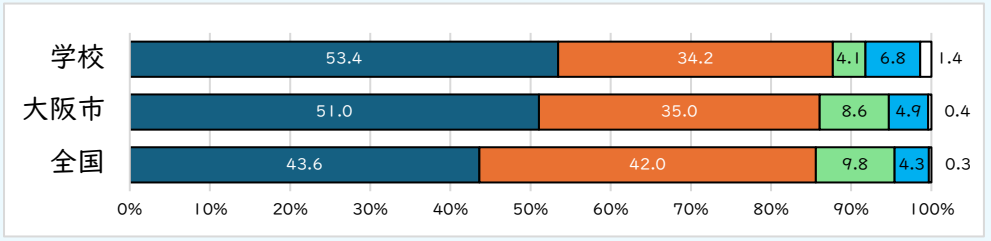
質問番号	質問事項
（15）	学校に行くのは楽しいと思いますか
（10）	将来の夢や目標を持っていますか
（8）	自分には、よいところがあると思いますか
（42）	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
（36－3）	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか



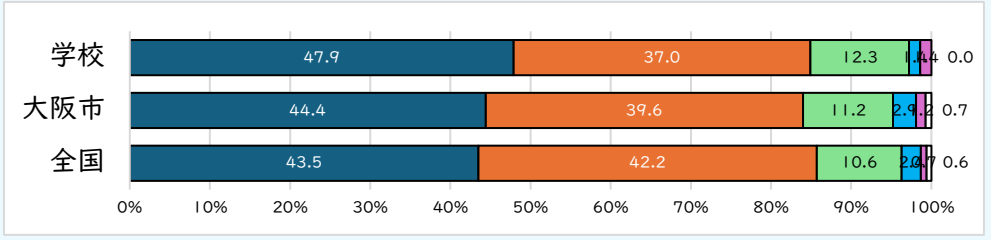
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



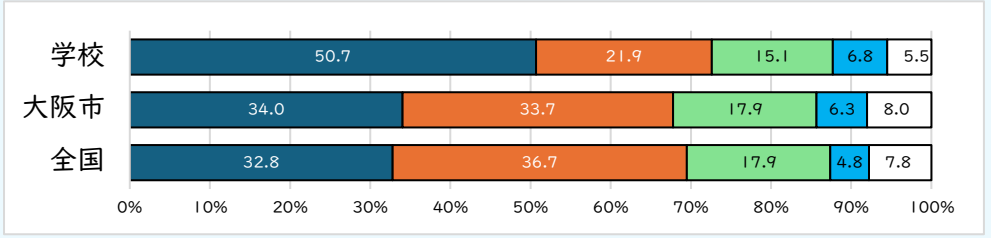
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

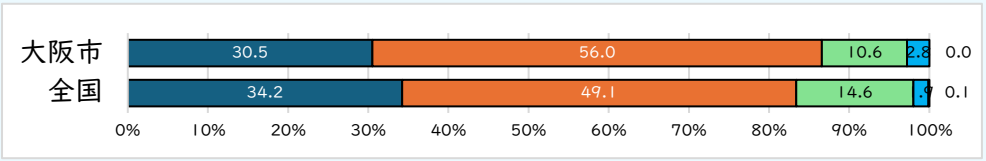
令和８年度全国学力・学習状況調査　学校質問調査より

1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

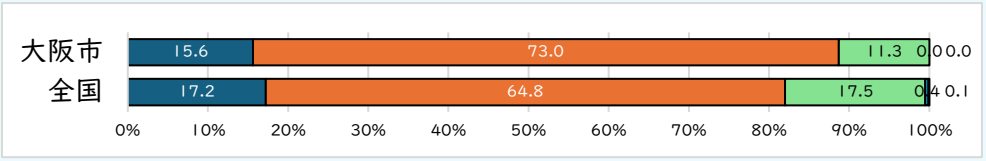
質問番号	質問事項
（24）	児童にとって、学校施設全体として、児童が学びや生活がしやすく、居心地のよい建物だと思いますか
（10）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行いましたか
（11）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか
（35）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、関連する既習事項を振り返り、知識を総合的に関連付ける学習活動を行いましたか
（49）	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、日常生活や社会における事象との関連を図った授業を行いましたか

【学校の回答】　1　そう思う



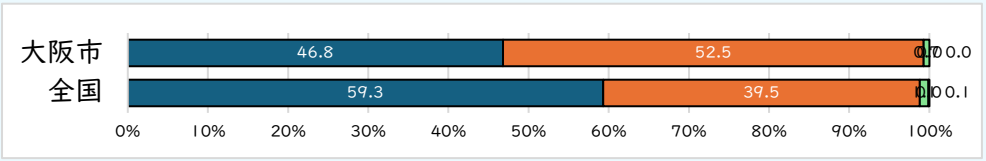
1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

【学校の回答】　1　よく行った



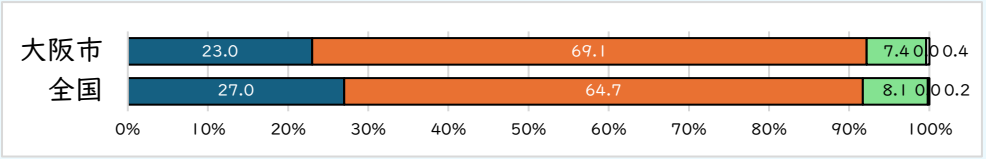
1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

【学校の回答】　1　よく行った



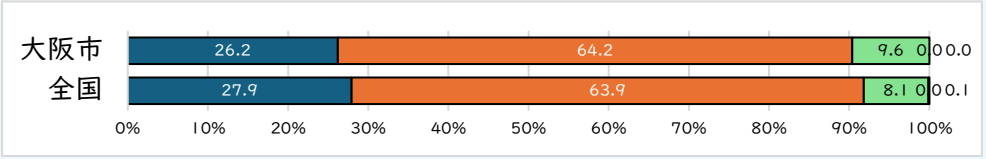
1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

【学校の回答】　1　よく行った



1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

【学校の回答】　1　よく行った



1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった